

# ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今号の **ほっと・ニュース**

田村市にて恒例の『都路灯まつり』が開催されました。竹筒にともされたやわらかな光が夜空の下で揺らぎました。



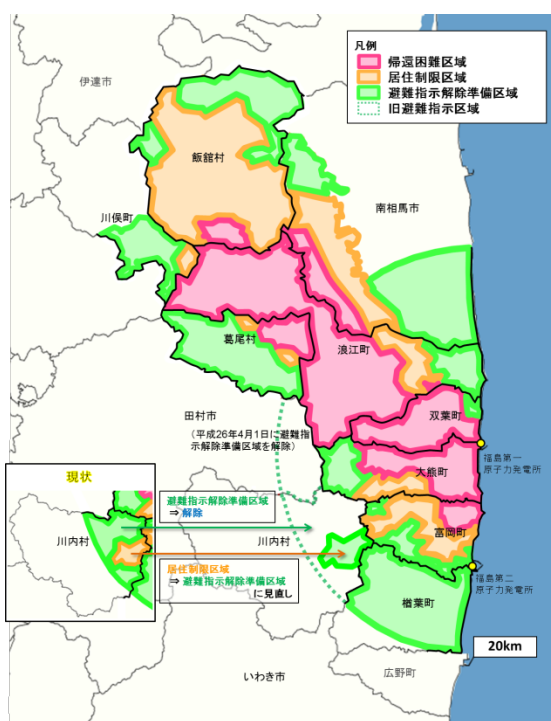
8月2日、田村市都路町岩井沢のグリーンパーク都路で開催されました。同会場では4年ぶりの開催となりました。

## NEWS 川内村の避難指示区域の解除等について

政府原子力災害対策本部は、本年9月12日、川内村東部に設定されていた避難指示解除準備区域を解除し、居住制限区域を避難指示解除準備区域に見直す決定を行いました。

避難指示区域の解除等は本年10月1日午前0時に実施されます。避難指示が解除され、住民の方々がふるさとに戻ることで、川内村の復興はいよいよ本格軌道に乗っていくこととなります。

今後も政府一丸となって、川内村の復興に取り組んでいきます。



### 暮らし関連2



檜葉町仮設商業店舗「ここなら商店街」がオープン!

### 暮らし関連3



「美しい故郷を取り戻すとともに、働く場を創り出したい」

### NEWS等4

夏期の特例宿泊の結果について等

詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください。  
[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20140912\\_01.html](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20140912_01.html)



## 暮らし関連情報

◆◇榊葉町仮設商業店舗（榊葉町）◇◇

# 榊葉町に仮設商業店舗

# 「ここなら商店街」がオープン！

7月31日、榊葉町に仮設商業店舗「ここなら商店街」がオープンしました。この施設は（独）中小企業基盤整備機構が「仮設施設整備事業（※）」で整備したものです。

3店舗（武ちゃん食堂、おらほ亭、ブイチェーン榊葉店）とも、「地元で仕事をしたい」という思いを抱き、今回の出店となりました。



※「仮設施設整備事業」について詳しくは以下をご覧ください（（独）中小企業基盤整備機構HP）  
<http://www.smrj.go.jp/kikou/earthquake2011/kasetu/index.html>

### 武ちゃん食堂（定食）



佐藤 茂樹さん  
美由紀さん

慣れ親しんだこの地で店を再開させたいとずっと願っていました。オープンの日には、震災前のお店のなじみのお客さん、仮設住宅で知り合った方などが沢山、お祝いに来てくれてとても感激しました。このお店が榊葉町の皆様にとって「ここにすれば町の誰かに会える憩いの場」になればと思います。昔ながらのニラレバ定食などのメニューでお待ちしています。

### おらほ亭 （麺類、ソフトクリーム）



横田 峰男さん

震災をきっかけに地元で貢献したい、地元で何かやってみたくての思いから出店しました。私のお店では、忙しい方にも食べて頂ける麺類と、ソフトクリームなどをご用意しています。震災前、桜が咲く頃の榊葉町は、沢山の人が笑顔を浮かべ、賑わっていました。このお店を通じて、震災前の笑顔を取り戻してほしい、被災地に幸せをお届けしたいとの思いで頑張っています。

### ブイチェーン（スーパー）



根本 茂樹さん

榊葉町の復興に少しでもお役に立てればとの思いで事業再開を決めました。お店では、榊葉町の方に立ち寄りやすい方、除染作業員の方に向けて様々な商品をご用意しています。榊葉町の復興が進み、町民の方に向けて商品の割合が多くなっていくことを信じて、慣れ親しんだこの榊葉町で働きたいという思いを共有する従業員とともに日々汗を流しています。



榊葉町仮設商業店舗「ここなら商店街」  
福島県双葉郡榊葉町大字北田字鐘突堂5番地の6（榊葉町役場西側駐車場）



# 暮らし関連情報

◆◇特定非営利活動法人「Jin」(浪江町)◇◇

## 「美しい故郷を取り戻すと同時に、働く場を創り出したい」

特定非営利活動法人「Jin」は障がい者や高齢者の方に対するデイサービスなどを行っている団体です。平成25年4月、「故郷を美しくしたい」という思いから農業を始めました。南相馬市の「サラダ農園」での野菜作りを皮切りに、養鶏も行いました。その後、美しい景観作りのため、花を植えてみてはどうかと考え、福島県と浪江町の支援も得て、現在はトルコギキョウを栽培しています。浪江発の日本一の農作物を作りたいという目標を掲げて、試行錯誤を繰り返しています。これらの取組を通じて、浪江町に働く場を創り出すとともに、高齢者の方、障がい者の方の生きがい作りにも貢献できればと思います。

将来的には、有機栽培



8月6日、トルコギキョウを県外に初出荷しました。



10種類以上のトルコギキョウを栽培しています。



美しい故郷を取戻し、浪江発の日本一の農産物を作り出したいと思います。

特定非営利活動法人「Jin」  
代表 川村 博さん

で温度管理など自動化して、高齢者の方にも取り組みやすい農業を目指したいと思います。

是非、沢山の方に見に来ていただき、農業を通して感動を共有できればと思います。



初出荷した商品は鶏卵です。



飼育するウサギはここを訪れる方に安らぎを与えてくれます。



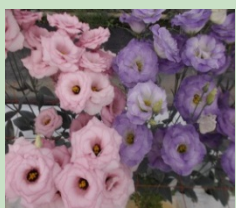
天蚕(てんさん)による絹糸の生産も計画しています。

### ◆◇◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◇◆

それぞれの立場で次の世代に何を残すことができるかを一緒に考えていければと思います。



特定非営利活動法人「Jin」  
福島県本宮市高木字黒作1  
連絡先：0243-33-6336





# 夏期の特例宿泊の結果について

通常は宿泊が禁止されている避難指示区域内において、短期間の宿泊を認める夏期の「特例宿泊」につき、去年は8泊9日で実施したところ、今回はお盆時期に加え、地元の夏の重要な催事等の時期も含め最長で29泊30日（7月19日から8月17日）にて行われました。

この期間の宿泊世帯数及び宿泊者数については次となりましたのでお知らせします。昨年と比較して宿泊世帯数で504世帯、宿泊者数で1,526人の増加となりました。

## ■ 特例宿泊の結果概要

実施市町村	飯館村	南相馬市	川俣町	葛尾村	川内村	檜葉町	合計
宿泊世帯数	58(84)	403(70)	27(33)	14(17)	1(22)	227(-)	730(226)
宿泊者数	155(218)	1,319(288)	83(110)	42(55)	3(56)	651(-)	2,253(727)

( ) は去年の数字

## ■ 特例宿泊期間中に開催された催事の風景



7月26日～28日  
相馬野馬追 (南相馬市)



8月15日  
盆野球 (檜葉町)



8月17日  
納涼流しそうめん (葛尾村)

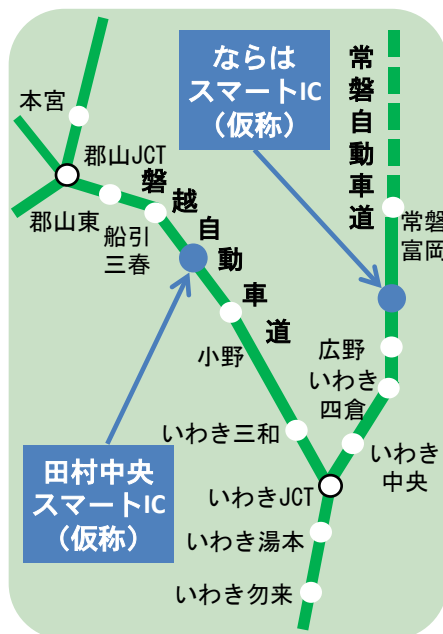


# 常磐道「ならば」、磐越道「田村中央」のスマートICの設置

7月25日、国土交通省は、常磐自動車道の「ならばスマートIC」(仮称、檜葉町)及び磐越自動車道の「田村中央スマートIC」(仮称、田村市)を新たに設置すると発表しました。

檜葉町及び田村市の計画によれば、供用開始は平成30年度内とされており、地域経済活性化等による復興促進に寄与するものと期待されています。

※スマートICとは、高速道路に設置されるETC専用IC(インターチェンジ)のことです。



詳しくは、国土交通省のホームページをご覧ください。  
[http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000433.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000433.html)



## 「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニュースレター」につきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。  
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>